

令和8年度世界遺産『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」登録10周年記念特設サイト制作業務提案公募に係る質問及び回答について

1 質問及び回答

質問1 仕様書P2 4業務内容(3)ウ

ロゴのダウンロードはサイトから自由にできてよいでしょうか？

- ・ ロゴマークは、特設サイト内、若しくは別サイトに設けた使用申請フォームを通して、申請し、許可を得た場合のみダウンロードできる仕組みを構築していただきます。

質問2 仕様書P2 4業務内容(3)ア、エ

ロゴマーク使用申請フォームで事務局が許可したイベント情報を特設サイト内のイベント一覧やカレンダーに自動的に反映する仕組みを構築することが明示されています。

一方で、申請件数がそれほど多くなならない想定であれば、簡易なCMSで手動登録するだけでも運用可能ではないかと考えています。

自動化機能は見積りへの影響が大きいいため、申請の見込み件数や事務局もしくは保守業者による手動登録の提案可否について伺えますでしょうか？

- ・ 現時点では、仕様書に記載されてあるとおり事務局が許可したイベント情報が自動的にサイト内に反映される仕組みを想定しております。

質問3 仕様書P1 4業務内容(1)

CMSの導入にあたり、WordPressを利用したシステム提案で差し支えないでしょうか。指定のCMSがある場合や、セキュリティ上の制約・要件がある場合は、あわせてご教示ください。

- ・ CMS導入に係るシステムの指定はございません。

質問4 仕様書P3 4業務内容(3)ア、エ

ロゴマーク使用申請の許可後、トップページのカレンダーおよび関連イベント一覧ページへの反映について確認させてください。事務局担当者がCMS管理画面上で申請内容を確認のうえ「承認(公開)」ステータスへ変更することでWebサイトへ反映される運用フローを想定していますが、この理解でよろしいでしょうか。

- ・ ご認識のとおりで問題ありません。

質問 5 仕様書P3 4業務内容(4)

受託者側でサーバー・ドメインを手配する前提で費用を積算する想定ですが、インフラ維持費用(契約期間終了の令和9年3月31日まで)は委託料上限額に含める認識でよろしいでしょうか。

- ・ ご認識のとおりで問題ありません。

質問 6 仕様書P1 4業務内容(1)

「多言語対応を見据えた設計」について、将来の翻訳追加方式(機械翻訳の自動連携か、手動での多言語コンテンツ入稿か)によってシステム設計が異なります。現時点でご想定があればご教示ください。なお、今回の業務範囲は日本語版の制作および将来拡張可能な構造の構築と理解していますが、この認識でよろしいでしょうか。

- ・ 多言語対応を見据えたシステム設計は、現時点で、本事務局の公式ホームページのような構造を構築していただきたいと考えております。
(<https://www.okinoshima-heritage.jp/en/>)
また、今回の業務範囲については、ご認識のとおりで問題ありません。

質問 7 仕様書P2 4業務内容(3)

特設サイトで使用する下記の素材・データは、すべて事務局よりデジタルデータにてご支給いただける想定でよろしいでしょうか。また、受託者側での新規取材・撮影・ライティング等が発生する可能性がある場合は、その旨をご教示ください。なお、ロゴマークおよびそのガイドラインについては令和8年8月頃の決定後にご支給いただく想定ですが、支給時期の目安もあわせてご教示いただけますと幸いです。

- ・ 世界遺産登録10周年のコンセプトテキスト(別紙)
 - ・ ロゴマークのガイドライン(8月決定後)
 - ・ 紹介用写真・動画
 - ・ イベントの初期データ
- ・ 現時点で、素材・データは全て、事務局が支給することを想定しています。
 - ・ また、ロゴマークについては、選定中であり、令和8年8月頃支給、ガイドラインについては、ロゴマーク決定後に制作するため、令和8年8月以降支給予定。紹介用の写真・動画等は、必要に応じて、事務局より支給いたします。

質問 8 仕様書P3 4業務内容(4)

「発注者が指定する(または受託者が手配する)Webサーバーへの設置、ドメイン設定を実施すること」とありますが、サーバーおよびドメインの取得費用や維持費(初期費用および令和9年3月31日までの月額利用料)は、今回の委託料(上限1,980,000円)に含める必要がありますか?また、発注者指定のサーバーを利用する場合、そのサーバースペック(OS、容量、推奨するCMS等)を教えてください

Google Analyticsを作成するGoogleアカウントはご準備いただけますでしょうか。

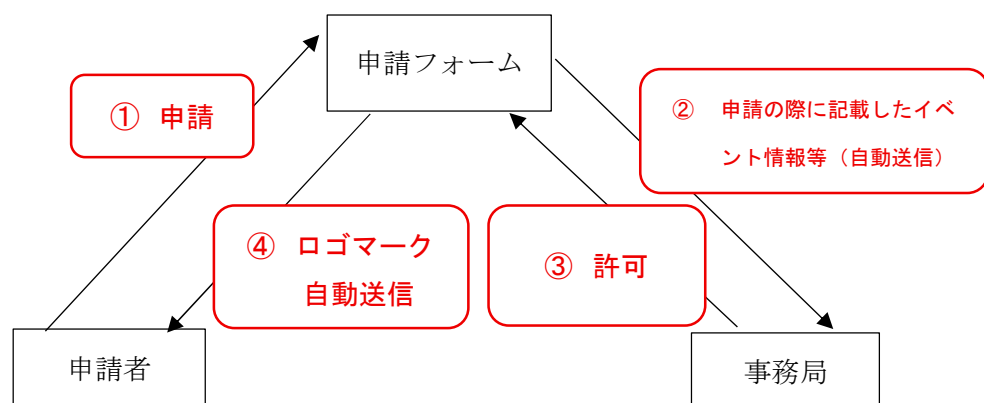
- ・ 質問5のとおりです。
- ・ また、今回の業務において、サーバーを指定することはありません。
- ・ Googleアカウントは準備いたします。

質問 9 仕様書P3 4業務内容(3)エ

ロゴマーク使用申請フォームはメールへ送信で、データベースは溜めない形での構築で問題ないでしょうか。

また、事務局側からの使用承認フローはどのように考えられておりますでしょうか

- ・ 申請があった際は、申請内容が事務局のメールに送信される仕組みを想定しております。
- ・ また、使用承認フローは以下のとおりです。



※③にて、許可したイベント情報については、特設サイトトップページに配置するカレンダーに自動反映。(反映後、必要に応じて、修正が可能なシステム構築を施すこと)

質問 10 仕様書P3 4業務内容(3)エ

契約期間は「令和9年3月31日まで」とあり、仕様書には「登録10周年となる令和9年、令和10年を経過した後も、機能を継続する仕組みを構築すること」とあります。令和9年4月1日以降のサーバー費・ドメイン費や、保守管理に係る費用は、別途協議の上で次年度の契約となる認識でよろしいでしょうか

- ・ ご認識のとおりで問題ありません。

質問 11 仕様書P2 4業務内容(3)ウ

デザインの背景（制作背景等）とは、具体的にどんなものを想定してますでしょうか？

- ・ ロゴマークの制作については、本遺産群の価値である「価値観の交流」（日本の国家基盤形成に不可欠であった対外交流の実態を物語る）と「文化的伝統」（約1600年前から現在まで継続する信仰）が表現されたデザインであることをデザイン条件としております。
- ・ 上記デザイン条件に合わせるために、デザイナーが凝らした工夫等を制作背景とし、特設サイトで紹介したいと考えております。

質問 12 仕様書P2 4業務内容(1)

公式サイトのギャラリーページのイメージでしょうか？

- ・ ご認識のとおりで問題ありません。

質問 13 仕様書P3 4業務内容(1)

ニュース、関連イベント情報ページ、カレンダー以外で、CMSが必要なコンテンツはありますか？

- ・ 現時点で、CMSを必要とするコンテンツとしては、ニュース、関連イベント情報ページ、カレンダーを想定しています。
- ・ なお、他の機能にCMSを設けるなど、受託者の専門的知見に基づく積極的なご提案も妨げるものではありません。

質問 14 仕様書P3 4業務内容(3)エ

申請者の氏名、連絡先、使用目的、使用期間、媒体、イベント情報、それ以外の情報などはありますか？

- ・ 現時点で、ロゴマーク申請に必要と考えられる情報を記載しておりますが、契約後に受託者と協議したうえで正式決定したいと考えています。

質問 15 仕様書P3 4業務内容(1)

10周年サイトは、本世界遺産登録5周年サイト「<https://www.okinoshima-heritage.jp/anniversary/>」と同じようなサイトといった認識でよろしいでしょうか？

- ・ 本業務にて制作するサイトは、5周年の際に制作したサイトと同じサイトを制作するのではなく、ロゴマーク特設ページ等の新たな要素を追加したサイトを考えております。

質問 16 仕様書P3 4業務内容(1)

ロゴマーク使用申請フォームの多言語対応は、必要でしょうか。必要な場合は、併記でもよろしいでしょうか？

- ・ 特設サイト全体は多言語対応を見据えた設計とし、質問6のとおりです。
- ・ なお、ロゴマーク使用申請フォームの多言語対応につきましては、併記でかまいません。

質問 17 仕様書P3 4業務内容(3)エ

ロゴマークのデータは、申請した者のみにダウンロードリンクを送る形でしょうか？もしくは、申請とは別に一般の方などもサイト内でダウンロードできる想定でしょうか？

- ・ ロゴマークを使用するまでのフローについては、質問1及び9のとおりです。
- ・ 申請者へのロゴマークデータの送付方法は、契約後に受託者と協議したうえで正式決定したいと考えています。

質問 18 仕様書P3 4 業務内容 (3) イ

「事務局に許可された情報においても、同様の表示がされるよう、申請フォームを制作すること」

⇒上記の記載がございますが、どのような項目を申請するためのフォームでしょうか。

- ・ 仕様書 (3) イについては、世界遺産登録10周年関連情報ポータルページに関する記載となります。
- ・ また、「事務局に許可された情報」とは、仕様書 (3) エに記載されたロゴマーク使用申請フォームにて、事務局に使用申請を提出し、事務局にて許可された情報 (イベントや企画等) のこととなります。
- ・ ついては、ロゴマーク使用申請フォームにて、入力、提出された情報を事務局が許可した際に、情報が余すことなく、自動的に、イ世界遺産登録10周年関連情報ポータルページに反映される仕組みとなるよう、特設サイト及び申請フォーム等を構築することを想定しております。

質問 19 仕様書P3 4 業務内容 (4)

「プレ公開」および「本公開」の各期日までに、公開前の最終テスト (マルチデバイスでの表示確認、リンク切れ確認、フォームの動作・承認連携テスト等) を実施し、発注者の確認を得ること。

⇒「承認連携」についてですが、申請者へのロゴ承認とは別に、課内での承認機能を想定されているということでしょうか。

- ・ CMS に入力し、サイト内へ情報を掲載することを承認した情報が、誤りなく、サイト内に記載される仕組みを承認機能と記載しております。

質問 20 実施要領P4 9 企画提案書の作成方法等 (5) 企画提案書の様式
提案書にA3用紙を挟むことは可能でしょうか。

- ・ 提案書は全て、A4片面印刷でご提出ください。

質問 21 実施要領P4 9 企画提案書の作成方法等（6）提出部数

6部（正本1部、副本5部）ただし、副本は複写可。

⇒何をもって正本、副本とされますでしょうか。副本は社名などは消さなくてもよいでしょうか

- ・ 正本及び副本に明確な差はございません。あくまでも、事務局に提出する提案書を正本とし、本業務を選定する委員が使用する提案書を副本と記載しております。よって、社名を消す等の対応は不要です。

質問 22 仕様書P3 4 業務内容（3）エ

ロゴマーク使用申請フォームの仕様において、「ロゴマークの使用申請は、申請者が申請後、事務局にて、確認及び許可できる仕組みとし、申請許可後は、特設サイト内の関連イベント一覧ページに申請したイベント及び企画等（申請者が申請時に入力したイベント日時、場所等）が自動的に表示されるつくりとすること。」とあるが、この「自動的に」というのは、申請を許可した（許可ボタン等を押下）と同時に即時的にサイトに反映されることを指すのか。それとも許可した後に1リレーほどの事務局と申請者間でのやり取りの発生があることも許容されるのか（やり取りの後に新たに得られた掲載情報を管理画面上で事務局側が入力し、掲載ボタンを押下などすることによってサイトに掲載されればいい程度の自動化なのか）。「自動的に」の言葉が表す自動化の範疇をご教示いただきたい。

- ・ 申請を許可（CMS 管理画面等で承認）したと同時に、サイトに反映されることを想定しております。（イベント情報等の日付が限定できるものはトップページのカレンダーにも反映。）
- ・ そのため、許可後に申請者と事務局でのやり取りは行わない想定です。
- ・ なお、サイトに一度掲載された情報（主に、世界遺産登録10周年関連情報ポータルページやカレンダー機能を想定しています。）においても、CMS を導入することで臨機応変に、情報を修正し、最新情報を掲載することのできる仕組みを構築したいと考えております。

質問 23 仕様書P1 4 業務内容（1）

CMSについて、発注者側で指定または希望するプラットフォームはございますか。また、CMS操作マニュアル作成および操作研修は本業務範囲に含まれる認識でよろしいでしょうか。

- ・ CMS のシステム及びプラットフォームについては、質問3のとおりです。
- ・ 操作マニュアル作成及び操作研修についてはご認識のとおりで問題ありません。

質問 24 仕様書P3 4業務内容(4)

Webサーバーおよびドメインの手配主体（発注者・受託者）は、現時点でどちらを想定されていますでしょうか。また、サーバー費用、ドメイン費用、SSL費用は委託費上限額に含む認識でよろしいでしょうか。SSL証明書について、有料証明書の指定はございますか。それとも無料SSL（Let's Encrypt等）の利用も可能でしょうか

- ・ Webサーバー及びドメインの手配及び費用については、質問5のとおりです。
- ・ SSL証明書については、有料証明書とし、費用は委託費に含みます。

質問 25 仕様書P3 4業務内容(3)エ

ロゴマークの使用申請について、「事務局にて確認及び許可できる仕組み」「許可後は特設サイト内の関連イベント一覧ページに自動的に表示されるづくり」とありますが、これは専用システム（マイページ機能や独自DBなど）の開発を想定されていますでしょうか。それとも、既存CMSのプラグインや外部フォームサービスを連携させた簡易的な承認・表示フローによる提案でも要件を満たしますでしょうか。

- ・ ロゴマーク使用申請フォームについては、外部フォームサービスを連携させた提案でも要件は満たすと考えております。
- ・ なお、受託者の専門的知見に基づき、専用システム（独自のデータベースの構築）の開発をご提案いただくことを妨げるものではありません。

質問 26 実施要領P2 9企画提案書の作成方法等(3)

企画提案書にはトップページ等のデザイン案を含める必要がありますが、記念ロゴマークの決定は「令和8年8月頃」と記載されています。提案書提出期限（令和8年6月19日）時点ではロゴが存在しないと推察いたしますが、提案書のデザイン案を作成する際は、プレースホルダー（ダミーのロゴ等）を配置した形での提案で問題ないでしょうか。

- ・ ご認識のとおりで問題ありません。

質問 27 仕様書P2 4業務内容(3)イ

世界遺産登録10周年関連情報ポータルページにおいて、「プレ公開」および「本公開」の各期日時点で、事務局から提供され、受託者側で初期登録・流し込みを行う想定コンテンツ（イベント、ニュース、企画など）の件数・ボリュームはどの程度になりますでしょうか。

- ・ 現時点でポータルページに掲載する情報の件数及びボリュームは、未定です。

質問 28 仕様書P3 4業務内容(3)イ

世界遺産登録10周年関連情報ポータルページにおいて、「事務局に許可された情報においても、同様の表示がされるよう、申請フォームを制作すること」とありますが、こちらは（エ）ロゴ使用申請フォームとは別のものが求められますでしょうか。

- ・ 世界遺産登録10周年関連情報ポータルページに記載した申請フォームとは、（エ）ロゴ使用申請フォームのことになります。そのため、別フォームを制作は不要です。

質問 29 仕様書P3 4業務内容(3)エ

ロゴ使用申請とイベント情報掲載申請を兼ねるものと考えてよろしいでしょうか。

- ・ ご認識のとおりで問題ありません。

質問 30 仕様書P3 4業務内容(3)エ

申請時に、使用予定デザイン、チラシ、画像、企画書などの添付ファイルを受け付ける必要がありますでしょうか。

- ・ 現時点で仕様書に記載はしていませんが、受託者の専門的知見に基づき、要素を追加すること等の積極的な、ご提案を妨げるものではありません

質問 31 仕様書P3 4業務内容(3)エ

イベント終了後の情報は、自動的に非表示にするのではなく、過去イベントとして掲載を継続する想定でしょうか。それとも一定期間後に非表示とする想定でしょうか。

- ・ 世界遺産登録10周年事業(イベント等)は、期間終了後においても、継続的に掲載する想定です。
- ・ なお、掲載する情報がイベント参加者募集等の期限が設けられた内容であった場合を想定し、掲載した情報は、CMS等で修正できる仕組みを構築していただきたいと考えております。

質問 32 実施要領P3 9企画提案書の作成方法等(1)ウ

発注元が「国又は地方公共団体」のみが実績の対象か？独立行政法人や一般社団法人、大学法人なども実績として認められるか？

- ・ 実績については、実施要領に記載のとおり、「国又は地方公共団体」のみが実績の対象となります。

質問 33 仕様書P1 4業務内容(1)

「他広報素材(冊子、ショート動画等)との連携」とは具体的に何をすることか？

- ・ 本事務局が、制作したことのある本遺産群を紹介する冊子や動画を世界遺産登録10周年特設サイト内に掲載することを想定しております。

質問 34 仕様書P3 4業務内容(3)ウ

「別サイト」とは何を指しているのか？

- ・ ロゴマークの使用を申請する際に、申請者が必要事項を入力するフォーム等の特設サイト内、または別のサイト等に構築することを想定して記載しております。
- ・ なお、受託者の専門的知見に基づき、仕様書の要件を満たすことができる場合は、上記の方法以外でのご提案を妨げるものではありません

質問 35 仕様書P3 4業務内容(2)

「日本の国家基盤形成を支えた対外交流を物語る「価値観の交流」と、約1600年前から今日まで継承される信仰を示す「文化的伝統」を理解するために何を具体的に確認・理解すべきか？

- ・ 世界遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」公式ホームページをご確認いただき、本遺産群について、確認・理解していただければと存じます。
(公式ホームページURL) <https://www.okinoshima-heritage.jp/know/>

質問 36 仕様書P3 4業務内容(1)

参考情報として、公式ホームページ (<https://www.okinoshima-heritage.jp/>) のデザインやページ構成、システム構成について、良い点や課題があれば教えてください。

- ・ 公式ホームページの良い点として、ファーストビューにインパクトのある動画が映ることで、サイトユーザーに本遺産群のイメージを伝えることができる点が、良い点だと考えております。課題については、特にございません。
- ・ 本業務で制作するサイトは、世界遺産登録10周年に関する情報に特化したサイトになるため、公式ホームページの仕組み等にこだわらない提案者の自由な発想や解釈によるデザイン及びシステム構築を期待しております。